

【脳出血後に要注意！】 血圧以外にマークすべきこと



脳出血患者さんの離床では、
血圧に十分注意すべきということは皆さん周知の事実です。

しかし、それ以外にも注意すべきことがあります。
それは腎障害です。

脳出血後に降圧療法を受けている患者の腎機能について調査をしたところ、
ベースラインの血清クレアチニンが高値であることと、
ニカルジピン（降圧剤）の使用量が多いほど、
急性腎障害と3カ月後の死亡リスクが高いと報告しています。

最近のガイドラインでは、
脳出血後には積極的降圧が重要といわれていますが、
治療に伴う腎障害もマークすべきです。

急激な浮腫みや尿量低下、倦怠感には注意しましょう。

Adnan I. Qureshi et al. Systolic Blood Pressure Reduction and Acute Kidney Injury in Intracerebral Hemorrhage. Stroke, 2020.

<https://www.ahajournals.org/doi/abs/10.1161/STROKEAHA.120.030272?download=true>

この情報が皆さんの診療に役立つことを願っております。